

令和6年度
学力向上プラン
【前期】



上尾市立上尾小学校

上尾市立上尾小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

「心を大切にする児童の育成」

- ねばり強く学ぶ子
- 思いやりのある子
- 明るく元気な子

学校課題研究主題

「他者とよりよくつながるための説明する力の育成」

国語～言葉による見方・考え方が働く言語活動を工夫した授業～
道徳～自己を見つめ、表現し、互いに深め合う児童を育成する授業～

学力・学習状況調査の結果

R5全国学力・学習状況調査	R5埼玉県学力・学習状況調査	R5上尾市立小・中学校学力調査
<p>【国語】国語科全体の平均正答率は、県平均を上回った。書く活動を重視した結果、「B書くこと」では、県平均を大幅に上回った。思考力・判断力・表現力等も向上した。</p> <p>【算数】算数科全体の平均正答率は、県平均を上回った。習熟度別学習の成果が表れ、知識・技能に関して県平均を大きく上回った。</p>	<p>【国語】書く活動の重視、学習内容を明確にした授業の成果が表れ、多くの項目で県平均を上回った。</p> <p>【算数】効果的な習熟度別学習の効果が表れ、多くの項目について県平均を上回った。どの学年も知識・技能が定着してきている。</p>	<p>【国語】学年によって多少のかたよりはあがるが、全学年で市の平均正答率と同程度、もしくは上回る結果となった。多くの学年で基礎に関する問題についての正答率が高かった。</p> <p>【算数】多くの学年で、市の平均正答率と同程度、もしくは上回る結果だった。全体的に活用についての正答率が高いが、基礎の内容は市の平均と同程度の学年が多い。</p>

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<p>①学年に応じた語句を習得し活用できる語彙力。</p> <p>②正確に四則計算ができる計算力。</p> <p>③既存の知識・技能と関連付けたり、組み合わせたりしていく力。</p>	<p>④問題や課題を発見する力。</p> <p>⑤他者と対話や議論をする場において、自分の考えをもち、説明する力。</p> <p>⑥共通点や相違点を理解し、協力しながら問題や課題を解決していく力。</p>	<p>⑦主体的に学習に取り組む態度。</p> <p>⑧問題に対して様々な方略を用いて粘り強く取り組む力。</p> <p>⑨多様性を尊重して、協働しようとする態度・優しさ・思いやり等、人間性に関するもの。</p>

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別学習の実施 ・机間指導による積極的な個別指導 <p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を明確にした授業 ・漢字や言葉の意味など、基礎・基本の内容を重視した授業 	<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学力にあった課題や問題の工夫 ・自力解決に対する的確な支援 <p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題について自ら考え、書く活動の重視 ・資質・能力の向上に適した言語活動の選択と実施 	<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が関心を高めるような導入の工夫 ・活用型の問題への更なる取組強化 <p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高めるための、言語活動の設定や、単元構成の工夫 ・多様性を認め合う全体交流

本校の特色ある取組

- 授業研究の充実
- 読書活動の充実
(校内ビブリオバトルの実施等)
- 学習環境の整備 (教室内外の掲示物)
- 学校応援団の積極活用

家庭教育との連携

- ほっとたいむの取組 (教育相談)
- 学校応援団による学習支援
- 家庭への発信
(学校・学年だより・学校HPの充実)

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学年に応じた語句を習得し活用できる語彙力。 ②正確に四則計算ができる計算力。 ③既存の知識・技能と関連付けたり、組み合わせたりしていく力。	④問題や課題を発見する力。 ⑤他者と対話や議論をする場において、自分の考えをもち、説明する力。 ⑥共通点や相違点を理解し、協力しながら問題や課題を解決していく力。	⑦主体的に学習に取り組む態度。 ⑧問題に対して様々な方略を用いて粘り強く取り組む力。 ⑨多様性を尊重して、協働しようとする態度・優しさ・思いやり等、人間性に関するもの。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	⑤、⑧	⑤読み取ったことを基に感想を書いたり、物語の好きなところを紹介したりするなどの言語活動を通して、相手と伝え合う。 ⑧各場面の様子の変化や、登場人物の行動の変化を読み取らせる。	
算数	②、⑤	②計算の方法や量の測定方法、ものの形の構成や分解など形式的な手続きの理解を図るために具体物や図などを用いて可視化させる。 ⑤具体物や図などを使って表現したことを友達と伝え合う。	
生活	④、⑨	④活動や体験を通して得られた気づきを質的に高めるために、活動や体験と振り返りとのつながりを重視する。 ⑨生命の尊さや自然事象について体験的に学習する。	
音楽	①、③	①楽曲の気分を感じ取って歌詞の表す情景や気持ちを想像して表現を工夫し自分の思いをもって歌う。 ③音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴いたり、楽曲や演奏の楽しさに気付いたりする。	
図画工作	⑦、⑨	⑦いろいろな形や色を見付けたり選んだり、触った感じを確かめたりする活動をする。 ⑨お互いの作品が目に入るような座席の工夫や、友達と関わりながら活動する場面を設定する。	
体育	⑦、⑨	⑦児童が多くの運動にふれあう機会を増やして楽しく運動できるようにする。 ⑨友達と協力して運動する場を準備したり、片付けをしったりさせる。	
英語活動	⑤、⑦	⑤ALT との交流の場を設定し、英語に自然と慣れ親しむことができるようにする。 ⑦体全体を使って取り組むゲームや歌を導入に取り入れる。	
特別の教科 道徳	④、⑥	④役割演技や動作化を取り入れる等、主人公の気持ちを捉えやすくなるような指導の工夫をする。 ⑥少人数で話し合う活動を取り入れ、自分と異なる意見を認め合えるようにする。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学年に応じた語句を習得し活用できる語彙力。 ②正確に四則計算ができる計算力。 ③既存の知識・技能と関連付けたり、組み合わせたりしていく力。	④問題や課題を発見する力。 ⑤他者と対話や議論をする場において、自分の考えをもち、説明する力。 ⑥共通点や相違点を理解し、協力しながら問題や課題を解決していく力。	⑦主体的に学習に取り組む態度。 ⑧問題に対して様々な方略を用いて粘り強く取り組む力。 ⑨多様性を尊重して、協働しようとする態度・優しさ・思いやり等、人間性に関するもの。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、③	①辞書を活用して語句を調べることで言葉に親しませる。 ③物語を地の文や行動、会話などから想像力を働かせながら読ませる。	
社会	⑤、⑨	⑤児童の実態に応じた資料を工夫することにより、学習問題を導き出す。 ⑨地域の歴史と伝統を知る、地域学習を重視する。	
算数	②、⑥	②習熟度に応じた適用問題を解く時間を設定する。 ⑥思考した過程や結果などを数学的な表現を用いて伝え合う機会を設ける。	
理科	⑤、⑨	⑤他者との交流を通して、自分の考え(予想や考察)を広めさせる。 ⑨季節ごとの動物の活動や植物の成長を観察する活動を通して、生物愛護の態度を養うとともに、環境との関わりについての見方や考え方を養う。	
音楽	⑥、⑦	⑥表現の支えとなる歌い方を身に付け、友達の歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて自分の声を合わせたりする。 ⑦音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴いたり、楽曲や演奏の楽しさに気付いたりする。	
図画工作	③、⑤	③形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるよう、活動の時間を十分に確保して児童が活動を通して色の変化などを味わうようにする。 ⑤捉えたことを友だちと確かめたり、言葉で伝え合ったりする機会を設ける。	
体育	⑦、⑧	⑦最後まで諦めずに取り組んだり、力一杯運動に取り組ませたりして運動を楽しくできるようにする。 ⑧活動する場の工夫をしたり、教具を工夫したりする。	
外国語活動	①、⑦	①チャンツや歌を歌うことにより、楽しみながら英単語に慣れる。 ⑦世界の食べ物に興味を持たせるよう、写真資料や具体物を提示する。	
特別の教科 道徳	⑥、⑨	⑥少人数のグループで話し合う活動を取り入れ、多様な考え方を認め合う場を設定する。 ⑨アンケートの結果を活用する等、生活経験を振り返る活動を取り入れ、事前、事後の指導に活かす。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学年に応じた語句を習得し活用できる語彙力。 ②正確に四則計算ができる計算力。 ③既存の知識・技能と関連付けたり、組み合わせたりしていく力。	④問題や課題を発見する力。 ⑤他者と対話や議論をする場において、自分の考えをもち、説明する力。 ⑥共通点や相違点を理解し、協力しながら問題や課題を解決していく力。	⑦主体的に学習に取り組む態度。 ⑧問題に対して様々な方略を用いて粘り強く取り組む力。 ⑨多様性を尊重して、協働しようとする態度・優しさ・思いやり等、人間性に関するもの。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑤	①辞書で調べたり、言葉のたから箱を活用したりして、自分の考えや感想を書く活動に親しみ、語彙を増やす。 ⑤読むことを通して自分の考えをもち、理由や事例などを挙げながら交流させる。	
社会	④、⑥	④観察、調査、体験から得た気づきを表現する活動を重視する。 ⑥ICT機器や地域の力を活用して、疑似体験を重ね、自らの生活と結びつける活動を重視する。	
算数	②、⑧	②習熟度に応じた適用問題を解く時間を設定する。 ⑧対話的に伝え合うことにより、よりよい解法を考えさせる。	
理科	③、⑨	③自然の事物・現象について複数の実験を行い、その結果を基にして多面的に考察することができるようにする。 ⑨観察・調査・実験する活動を通し、環境と人間との共生について考えさせ、生命を尊重し自然を愛する態度を養う。	
音楽	③、⑨	③音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴き、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する ⑨各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自分の声を友達の声と調和させて歌う。	
図画工作	⑤、⑧	⑤鑑賞する活動において、話し合ったり言葉で整理したりするなど具体的に捉える機会を設ける。 ⑧動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、児童に具体物を見せる。	
家庭	⑤、⑥	⑤住まい方や衣服の着方を工夫し、年間を通して自分の生活を快適にすごせるように班で話し合う活動を行う。 ⑥身近な人や環境に感謝の気持ちを伝えるための計画を話し合い、よりよい生活の工夫ができるようにする。	
体育	③、⑧	③基本的な動作や技のポイントを理解させて運動に取り組む。 ⑧協力・公正などの態度を育成し、その中で自己の最善を尽くして運動できるようにする。	
外国語科	⑦、⑨	⑦チャンツ・歌・ゲーム等を通して、児童が外国語活動を楽しめるようにする。 ⑨映像資料を視聴し、外国の文化に興味をもたせ、分かったことを記入させる。	
特別の教科 道徳	⑥、⑨	⑥学級内でディベートの話し合い活動を取り入れる。 ⑨自己内対話の時間を十分とり、多様な考え方の交流をし、自身の変化に気づけるように書く活動を大切にする。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○授業研究の充実

- ・令和4年度には、研究授業7回、公開授業14回実施。
- ・令和4年度前期には、研究授業2回実施。
- ・令和5年度後期には、今までの研究成果についてまとめ、委嘱発表を実施。
- ・令和6年度も、授業の実践を主とした研究を実施する予定。

○読書活動の充実

- ・読み聞かせボランティアの活用。(お話玉手箱 全学級実施 月1回)
- ・図書ボランティアによる季節に応じた図書室の掲示物作成。
- ・全校ビブリオバトルの実施。(毎学期)

○学習環境の整備

- ・学年ごと工夫した効果的な掲示物の作成。
- ・国語、算数の授業方法と板書内容の統一。

○学校応援団の活用

- ・様々な場面での学習支援。(1年間でのべ1000人以上が参加)

家庭教育との連携

○ほっとタイムの取組

- ・児童の学校生活や学習の様子を気軽に相談できる日の設定と活用。
- ・学力に課題のある児童の保護者に対し、担任からの積極的な働きかけ。

○家庭学習の取組

- ・児童の家庭学習を充実させるため、保護者に、音読の点検、漢字や計算等の答え合わせを依頼。

○家庭への発信

- ・保護者会や学年だよりで、学校・学級経営の方針等の伝達。
- ・学校ホームページで、学校行事や学習の様子を発信。